

製品名: MLL マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80626

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	MLL
別名	MLL
遺伝子 ID	4297.0
SwissProt ID	Q03164
免疫原	大腸菌で発現した MLL (aa3751-3968) の精製された組み換え断片。

背景

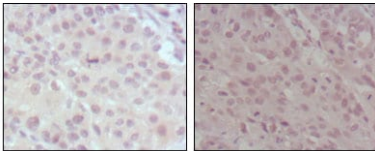
骨髄性 / リンパ性または混合系白血病 (Trithorax ホモログ、ショウジョウバエ)。真核生物の RNA ポリメラーゼ II は、成熟した機能的なメッセンジャー RNA の合成を媒介する。これは転写サイクルと呼ばれる多段階のプロセスであり、開始前段階、プロモーター

段階、クリアランス段階、伸長段階、終結段階の5段階から構成される。伸長段階は遺伝子発現の制御において重要な段階であると考えられている。ELL (11-19 リジンリッチ白血病タンパク質、MENとも呼ばれる) は、RNAポリメラーゼIIの伸長因子として機能し、RNAポリメラーゼIIによる一時的な転写停止を抑制することで転写速度を高める。また、ELLは細胞増殖を制御すると考えられている。ELLは、末梢血白血球、骨格筋、胎盤、精巣に豊富に発現しており、脾臓、胸腺、心臓、脳、肺、腎臓、肝臓、卵巣では発現が低い。染色体19p13.1に位置するヒトELLをコードする遺伝子は、急性骨髄性白血病において染色体11q23のMLL遺伝子と転座する複数の遺伝子の1つである。MLL (骨髄性/リンパ性白血病、ALL-1およびHRXとも呼ばれる) は、胎児および造血の発達を制御する430 kDaのタンパク質である。

研究分野

アポトーシス

画像データ



パラフィン包埋ヒト肺がん (左) および食道がん (右) の免疫組織化学分析。MLL マウス mAb を使用した DAB 染色で核の弱い染色を示しています。